

愛知県総合射撃場 ビームライフル射撃体験会&射撃場見学ツアー に参加しました！

2021年9月25日（土）に愛知県総合射撃場において開催された「ビームライフル射撃体験会&射撃場見学ツアー」に参加しましたので、体験レポートします！

当日は、小学4年生以上が対象で、30人の参加がありました。

愛知県総合射撃場は、愛知県が1994年（平成6年）の第49回国民体育大会「わかしゃち国体」の開催を機に射撃競技会場として、また、射撃競技の普及拡大を図るため建設された県有施設です。

施設は、愛知県の豊田市、標高669mの緑濃い山並みの続く自然豊かな環境の中にあり、「ライフル射撃場」と「クレー射撃場」を擁し、日本有数の規模を誇る総合射撃施設です。

当施設は愛知県から指定管理者の指定を受けて、公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団が管理運営を行っています。



（愛知県総合射撃場：クレー射撃場からの遠景）

- 第2射撃場（エアライフル） 10m標的 50射座
※ビームライフル併設 <内 電子標的 26射座>

ライフル棟の2階にあります。

口径5.5mm以下（150気圧まで）の空気銃で10m前方の静止標的を射撃し得点を競います。



エアライフル（空気銃）は、特に大きな音はしませんでした。

※ なお、今回、見学はありませんでしたが、第3射撃場では、口径10.5mm以下のライフル銃及び口径12番以下のスラグ弾で50m、150m前方の静止標的を射撃し得点を競います。

○ 第4射撃場（クレー射撃）

トラップ2面・スキート2面・併用面1面

<トラップ>

トラップ射面は、横1列に並んだ5ヶ所の射台から、その15m前方に設置してある15台のクレー放出機から放出される標的を散弾銃で射撃します。



<スキート>

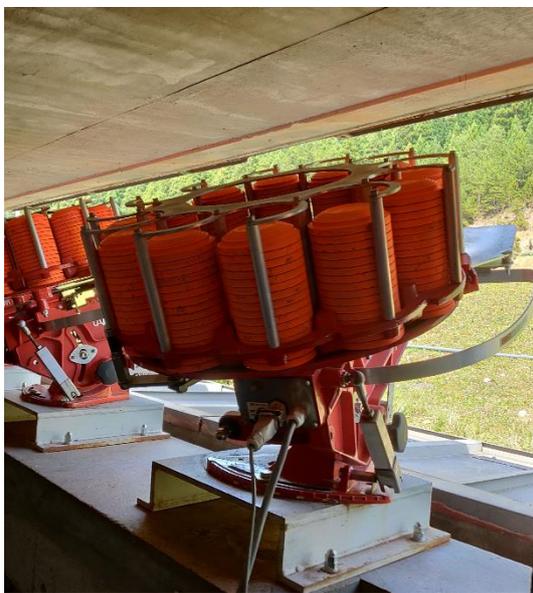
スキート射面は、半径19.2mの半円形で、外周上の7ヶ所と、円の中央に1ヶ所の合計8射台があり、左右にあるハイハウス・ローハウスから放出される標的を散弾銃で射撃します。



通常は立ち入ることができない「トラップ射面」の地下部分のバックヤードも特別に見学させていただきました！



(トラップ射面の地下を見学)



(クレー放出機)



(標的：クレー)

壁際には標的のクレー（素焼きの皿）が大量に山積みされていました。普段放出しているクレーは1枚45円、パウダーが舞う特殊なクレーは90円もするそうです。

② ビームライフル射撃体験会

参加者は2班に分かれて、体験会に参加しました。

初めに、施設を管理運営している公益財団愛知県教育・スポーツ振興財団の職員さんから、ビームライフル銃の説明を受けます。



早速、ビームライフル射撃の開始です。ビームライフルは光線銃なので、火薬のような爆発音はしませんが、標的に命中すると、スピーカーから発砲音が響いてきます。



最初は銃を台に置いて、座って射撃します。当たった場所が、ディスプレイに 10 点満点で表示されます。



慣れてきたら、立って射撃に挑戦です。ビームライフル銃はかなり重いのと、立つと腕も揺れるので、難易度が格段に上がります。



参加者の皆さん、時間いっぱいまでチャレンジしてました！

③ まとめ

愛知県総合射撃場は、2026年に開催される第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の射撃競技の競技会場としても仮決定しています！

今回、体験した「ビームライフル」は、銃の所持許可がなくても撃つことができる光線を使った安全な射撃スポーツで、国民体育大会の正式種目にもなっています。

免許を必要としないので、大人から子供までどなたでも楽しむことができます。

料金は一般の方は1時間150円、学生の方は1時間100円です。
（低料金ですね～）

お持ちいただく道具は一切ありません。施設のほうですべて用意していただけますので、この記事を見て関心を持たれた方は、お気軽にお越しください！

なお、特に予約の必要はありませんが、大会等により利用ができない場合がありますので、事前にご確認ください。

【お問合せ先】

愛知県総合射撃場 電話：0565-90-3971

〒444-3203 愛知県豊田市宇連野町ウネ畑 12-95

<射撃場内には、食堂・売店はありませんので、ご注意ください。>

※ 新型コロナウイルス感染症対策をしっかりとったうえで、体験会に参加しました。

掲載サイト：愛知県スポーツ局競技・施設課 aispo!Do!」

<https://aispo-do.jp/>